

令和5年度後期 各部会からの事業報告

総務自治部

2023内原ふれあいまつり

総務自治部部長 鈴木 瑞生

今年度も無事にお祭りを終えることができました。前日の準備、そしてお祭り当日、次の日の片付けと三日間にわたって、係としての重圧を感じながら初めて参加しました。そして今、このお祭りは、見えるところでも見えないところでも、本当に沢山の人の協力があったことだということを痛烈に感じさせられました。いろいろな催事に、参加した人々のあふれる笑顔を見て、幸せな気分を味わうことができたことに感謝いたします。



国校区自治会加入運動

国校区自治会長 羽山 旭太

国校区は元々日本国民高等学校（現、日本農業実践学園）の関係者が中心の自治会でしたが、近年は新興住宅地として戸数が急増しています。現在57戸が入会しておりますが、未加入戸数は80戸を超えています。加入促進の活動として戸別訪問や入会案内のポスティングをしてきましたが、成果は少しずつあらわれていると考えています。新しい自治会の役割を考えながら、町内会防犯灯設置促進活動を行っていききたいと思います。



生活環境部 花苗配布

生活環境部長 園部 修治

生活環境部は「内原地区の住みよい、きれいなまちづくり」を基本に活動しています。クリーン作戦は、15地区自治会宛て回覧にてお知らせし、6月、11月、3月に、年3回地域コミュニティ活動の活性化を兼ね開催しております。

また、花苗の配布は、内原地区10団体に、植え込み計画書により飯島花園にて区割りし、今年度最後となる3月7日にパンジー花の苗を配布いたしました。

令和6年度は、5月にペコニア、6月にマリーゴールドを配布し、7月に写真撮影を行ってから内原地区優秀花壇を選び、水戸市中央地区花壇コンクールに応募します。令和5年度は2団体が努力賞を受賞しましたので、令和6年度も各団体が上位入賞を目指して地域の住民が喜ぶような花を花壇に咲かせましょう。



安心安全部 防災研修会

安心安全部長 上野 由来夫

令和5年12月9日、新しく立ち上がりました内原地区女性防火クラブと協働で防災資材の設営、消火器の使用訓練、非常食（マジックライスの調理）を水戸市の協力により行ったり、内原地区の消防団である第22分団



の活動説明と資機材展示等を行ったりしました。いつ何時災害は訪れるかわかりませんので、ぜひ防災について一緒に考えていきましょう。

健康増進部 内原ふれあいハイク

健康増進部長 今瀬 一郎

令和5年11月22日（日）大型観光バスに38人が同乗し、いばらきフラワーパーク（900種もあるバラ園の秋バラ）でバラの花の美しさや香りを味わい、内田観光果樹園（柿狩り）で柿の味覚を堪能し、五感を満喫することができました。



内原地区スポーツ大会

令和5年10月22日（日）水戸市内原ヘルスパークで開催されました。男性65名、女性67名、子供から高齢者まで132名の参加がありました。チーム戦（一チーム3人）のポッチャが大変な人気で22チームが参戦し熱戦を繰りひろげました。その他、ストライクアウト等の個人戦3種目も盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができました。



内原地区女性防火クラブ活動報告

内原地区女性防火クラブ会長 飛田 静子

2023年10月29日に第8回水戸黄門漫遊マラソン大会の応援隊に内原地区自警団・グリーンパトロール隊とともに参加しました。コースの折り返し地点でそろいの法被を着て纏を手に待機しました。ランナーの集団の足音が近づいてくると、次第に地響きが足元に伝わってきました。ランナーは、沿道の声援がよく耳に届いていて頑張る力が湧いてくると聞いたことがあり、私たちも応援に力が入りました。ランナーを応援することで、水戸黄門漫遊マラソン大会をともに楽しむことができました。

年明け1月7日に水戸市消防団出初式がアダストリアみとアリーナで行われました。室内では式典、書道のパフォーマンス、はしご乗り演技、幼年消防クラブによる演奏など、どれも目を見張るものでした。野外では訓練や体験型防火ふれあい広場に多くの家族連れが集まっています。女性防火クラブ員もこれを機会に防火の知識を新たに刻みました。



内原駅周辺の利便性向上に向けた整備について

内原駅南口周辺地区整備事務所長 飯田 健一

内原駅周辺地区においては、内原地区の皆様のご協力により、令和4年11月に橋上駅舎と南北自由通路の供用を開始しました。また、橋上駅舎と大型商業施設方面間の移動の安全性を高めるため、令和5年12月に北側自由通路の整備に着手し、令和6年度末の完成を目指しております。

南口駅前広場及び駐輪場等についても、駅周辺の利便性向上に向けて、計画的に整備を進める予定です。今後とも、ご理解とご協力をお願いいたします。



茨城県立内原特別支援学校との交流 <昔遊び> (令和6年1月15日)

茨城県立内原特別支援学校校長 武井 和志

内原地区自警団・グリーンパトロール隊の方が来校され、小学部1年生と昔あそびで交流を行いました。児童たちは「昔遊び名人」達の技に目を輝かせ、「どうやるの?」「教えてください」と自然に交流が深まりました。いただいた手作りのこまや紙ひこうきで、今もたくさん遊んでいます。

<高等部 ボッチャ交流会> (令和6年1月25日)

内原地区自治連合会の皆様と高等部1年の生徒で、「新春ボッチャ交流会」を行いました。大きな声で地域の方と生徒たちが声援を送り合う等、大いに盛り上がりました。



「内原っ子お助け隊」の活動紹介

内原小学校長 橋本 典子

内原小学校では、保護者ボランティアを募り、様々な教育活動にご協力いただいています。その一つで、5、6年生の家庭科でミシン学習の補助をしていただきました。教師一人では手が足りないところを補助していただき、効率よく学習できました。また、職員だけでは手が回らない駐車場や花壇を短時間できれいに整備していただき、助かりました。



今後は地域も含め、より多くの方にご協力いただければありがたいと思っています。



令和5年度内原市民センター文化祭

内原市民センター所長 弓野 保

市民センターとして、第3回目となる文化祭を2月16日から18日にかけて開催しました。昨年度に比べ、参加団体が12増え、講座やサークル等の30団体に参加いただき、延べ471人の皆様にご来場いただきました。参加された皆様、ご来場いただいた皆様に改めて感謝申し上げます。

文化祭は、地域の方々に市民センターの活動を知っていただく好機となっています。今後も、関係者の皆様と協力しながら、地域の方々に楽しんでいただける文化祭の開催を目指してまいります。



編集後記

内原駅近くの水田から北の方向に小さな富士山のような形をした山が見えます。水戸市で一番高いとされる朝房山（標高201m）で、昔、内原中学校でもこの山への歩く会を行っていたとのこと。常陸風土記などにも記述されていることは有名ですが、小松左京氏の「日本沈没」で最後に残った地域は、朝房山東の山麓の地区と聞いてびっくりしました。内原駅から朝房山までは、約8kmですので、皆さんも歩いてみてはいかがでしょうか？

広報委員長 岡村 正洋

